

枚方中国語を学ぶ会だより

2014年9月号
枚方
中国語を学ぶ会

熱烈歓迎 新入会員 盛り上がった歓迎会

6月18日(水)、さだ生涯学習市民センターで、枚方中国語を学ぶ会の新入会員歓迎会が開かれ、今年度の新入会員をはじめ、各班からたくさんの参加者があり、大いに盛り上がりました。

歓迎会では、今西事務局長の開会の挨拶に続いて、上級Ⅰ班の仲野さんの音頭で乾杯。会食しながらの談笑に話がはずみました。

また、我が会最高齢の上級Ⅰ班の前田さんから長年集められた蔵書の紹介や昨年度の中国語検定合

格者の表彰、各班の老師からの「今年の抱負」発表がありました。

そして、恒例の各班からの出し物。初級、中級、上級Ⅱ班からは中国語に関するクイズ、また中級班の合唱があり、景品がもらえるとあって、会場は熱い空気に包まれました。

最後に井野顧問の「一本締め」で2時間に渡る歓迎会を終え、参加者は今年度の学習への意欲を胸に散会しました。

今、日中の政府どうしの関係は冷え込んでいますが、2千年の交流の歴史がある日中両国。そんな今だからこそ、我々が中国語を学ぶことを通して、隣国中国を深く理解し、民間の交流が深まるのが大切だとあらためて感じさせられました。



【写真上】乾杯！【写真中】出し物で合唱する中級班 【写真下】談笑する参加者

紹介一下我的班—上級Ⅱ班

少数精鋭(?)で 頑張ってます

私たち上級Ⅱ班は、在籍者が、9月1日現在9人と大変少数です。

しかし、中検2級合格をめざす人、すでに合格しさらに上をめざす人、字幕なしで中国映画を見られるようになることをめざす人など、各自がさらなる向上をめざして頑張っています。

毎回の学習も必ず予習が必要であり、かなりの努力を要しますが、

月一回の写文章も、当初は、一単語につき一文だったのが、最近は、指定された単語を全て使った文章を作る人が増えるなど、メンバーの力は確実に向上しています。

西川会長の 中国語余話

文化・言語の 多様性を大切に

一つの文化や言語の習慣の中に浸かっていると、どうしてもその文化や言語だけにとらわれてしまい、すべてを自身の物差しだけで判断・理解してしまいます。世界には、多種多様な言語・文化があり、いろいろな考

え・見方があるからこそ、地球が今日まで保たれてきたと言えると思います。

大切な隣国中国を理解するのは、当然難しいですが、これから皆さんと一緒に、外国語習得、中国語、中国語文化について、いろいろ考えてみたいと思います。

いろいろ皆さんのご意見もお聞かせ下さい。よろしくお願ひします。

(このコラムは連載です)